



上天草市立上天草総合病院

地域医療連携通信

上天草総合病院理念
信頼される地域医療
基本方針

1. 私達は、患者様中心の医療をめざします。
2. 私達は、地域に根ざしたところあたたかな医療を提供します。
3. 私達は、患者様に快適で安全・安心な医療を提供します。
4. 私達は、退院後も安心して療養できる病院をめざします。
5. 私達は、常に自己研鑽に努め、医療水準の向上に励みます。
6. 私達は、健全な病院経営をめざします。

上天草市立上天草総合病院 地域医療支援部 (直通)

電話:0969-54-7373 FAX:0969-62-1547

住所:866-0293 熊本県上天草市龍ヶ岳町高戸1419-19

電話:0969-62-1122(代) FAX:0969-62-1546(代)

URL : <http://www.cityhosp-kamiamakusa.jp/>Eメール : kamiama@cityhosp-kamiamakusa.jp

発行責任者:地域医療支援部長 城野 英利

「きららの里」施設長就任のご挨拶

ふなびき てつり
きららの里施設長 船曳 哲典

みなさんこんにちは。

このたび上天草総合病院に付設された 介護老人保健施設「きららの里」の施設長になりました船曳哲典です。私は2年前から上天草総合病院小児科に勤務しておりますが、前任の堀内先生の退職に伴い、

「きららの里」の仕事もさせていただくことになりました。小児科との兼務となりますが、どうぞよろしくお願いいたします。実は実家の母親が老人ホームのお世話になっているのですが、親孝行らしいことは何ひとつしていません。そのかわりといっはなんですが「きららの里」の仕事はしっかりやらなくてはならないと思っています。

私たちの「きららの里」の建物の前には青い海がひろがり、後ろには緑にかがやく龍ヶ岳がそびえていて、その山頂には本格的な天体望遠鏡を備えたミュージアム天文台が開設されています。龍ヶ岳町史によると「きらら」とは「星のきらめき、海のきらめき、人のきらめきと光輝く町をイメージ」して名づけられた旧龍ヶ岳町のイメージキャラクターの名前で、1993年に公募で決まったそうです。地元の人たちの誇りや願いがよく伝わってくる名称だと感じました。

さて、上天草市の高齢化率(65歳以上)は40%を

超えており、全国815市区のなかでは高い方から60番目です。高齢者が多いこの地域で「きららの里」が果たさなくてはならない役割はますます大きくなっていくと思われま。

先日読んだ郷土史の本の中で、日本地図を作成した伊能忠敬の事績が紹介されていました。伊能忠敬は今から200年以上も前、1810年(文化7年)10月から11月にかけて上天草の測量を行っており、「きららの里」がある高戸は10月26日に調査したと書いてありました。「測量日記」には御所浦、大道、高戸、樋島、二間戸、姫浦、阿村、合津、今泉、教良木、大矢野上、中、登立、維和など今とかわらぬ地名が記録されていて、時代は移りかわっても、上天草の景色はかわらず、人々の営みもかわらないことに気づき、胸が熱くなりました。ちなみに1832年(天保2年)の上天草の総人口は26,797人(2020年5月26,423人)で現在とほとんど変わりません。旧町別に見ると大矢野12,419人(同13,672人)、松島6,527人(同6,803人)、姫戸2,916人(同2,351人)、龍ヶ岳4,935人(同3,597人)となっていて、姫戸、龍ヶ岳は今より人口が多かったようです。

「きららの里」入職後は人生の先輩である利用者の皆様に対する感謝と尊敬の気持ちを忘れず、職員と力をあわせてお世話をさせていただきます。

今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

赴任のご挨拶

はやし ひろたか

内科医員 林 広隆



令和2年4月より上天草総合病院内科医師として赴任しております林広隆（はやし ひろたか）と申します。平成26年に自治医科大学を卒業後、熊本大学病院、熊本赤十字病院で初期研修を行いました。阿蘇医療センター、湯島診療所で地域医療・へき地医療に携

わったのち、熊本大学病院脳神経内科での専門研修を経て当院へ着任いたしました。湯島診療所赴任中から週1回脳神経内科外来を担当させていただいておりこれまでもお世話になっておりました。今年度は一般内科医としてもお世話になります。月曜日・火曜日の一般内科外来、火曜日の相生荘往診、金曜日の教良木診療所外来に加え引き続き木曜日に脳神経内科専門外来を行っております。

「脳神経内科」とは聞き慣れない方も多くおられるかと存じますが、脳、脊髄、神経、筋肉の疾患を内科的に診る診療科です。かつては「神経内科」と標榜していましたが、そもそもあまりよく知られていなかったり、精神的な問題を取り扱う「精神科」「神経精神科」「神経科」と混同されやすかったりすることからこれまで神経内科を受診してほしい患者さんが診断に至るまでに時間がかかったり適切な治療のタイミングを逃したりしている実情がありました。こうした経緯があり一昨年ごろから「脳神経内科」と標榜することになりました。脳神経内科で扱う症状としてはしびれ、うまく力が入らない、歩きにくい、ものが二重に見える、勝手に手足や体が動くなど多岐にわたります。疾患としては脳梗塞、脳出血などの脳卒中、アルツハイマー病などの認知症、てんかん、頭痛などのcommon diseaseに加え、多発性硬

化症、重症筋無力症などの免疫性疾患、パーキンソン病、筋萎縮性側索硬化症といった神経難病があります。

脳神経内科外来の初診の場合30分から場合によっては1時間程度かけて問診、神経学的診察等を行います。そうした事情もあり脳神経内科外来は完全予約制としております。予約が取りづらいなどご迷惑をおかけすることもあるかもしれませんがご理解いただけましたら幸いです。もちろん、緊急の場合はこの限りではありません。

天草地域には脳神経内科の診療が受けられる医療機関は少なく、これまで私が研鑽を積んできたことが少しでも地域の皆様のお役に立てることができましたら幸甚です。しかしながら、当院でできることは限られておりますので、必要に応じて熊本大学病院脳神経内科及び関連病院と連携をとりつつ診療して参りたいと存じます。

脳神経内科領域の疾患のうち特に私が力を入れてきたのは脳梗塞などの脳卒中分野ですが、現在当院ではt-PA療法や血栓回収療法には対応できておりません。一方、一般内科の診療も行っておりますので特に脳卒中の原因となる生活習慣病の管理に力を入れていきたいと考えております。また、頸動脈狭窄症や脳動脈瘤など脳卒中の原因となるような血管病変については必要に応じて提携病院でカテーテル検査・治療を行う体制もっております。

脳神経内科も含めた内科全般について常に勉強し続け、患者さんにとって「何がベストか」を常に考えながら診療に励んでいきたいと存じます。まだまだ若輩者でご迷惑をおかけする点もあるかと存じますが何卒よろしくお願い申し上げます。



オンライン授業を受けて

上天草看護専門学校

43期生 畑 涼夏

目下、新型コロナウイルスの話題は枚挙にいとまがない。緊急事態宣言は全面解除されたが、第二波への懸念はいまだ拭えず、感染予防の徹底が求められる日々である。この影響は例外なく私たち学生にも襲い掛かり、感染予防対策のための分散登校が強いられている。それに伴い、わが校ではオンライン授業が導入された。

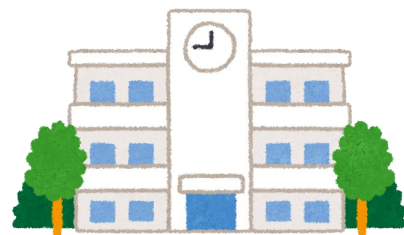
私自身、オンライン授業という学習形態は初めての経験であった。そのため、授業を受けるためにインターネット環境を整えたり、アプリをインストールし設定したりと、準備をするなかで疑問点や不安な点もあった。しかし、先生方も慣れないなかでのサポートだったはずなのに、疑問点や不安な気持ちを先生方に相談しやすい雰囲気があり、安心することができた。

オンライン授業が始まると、開始前の不安が杞憂だったように大きな問題もなく取り組めた。まれに通信環境の乱れなどで、タイムラグがあったり音声途切れたりしたこともあるが、授業は録画されているため後で支障が出た部分の確認をすることができ、焦ることはなかった。さらに授業

後に見返し復習ができたり、苦手部分の確認ができたりと快適に学習に取り組める環境であると思う。また通学に時間がかからず、自由なスタイルで授業を受けることができるため生活や時間の余裕ができた。

しかし、オンライン授業にはデメリットもある。周囲に家族がいたりすると意識がそれたり、クラスメイトと一緒に取り組んでいるという実感が薄くなり勉強に対するモチベーション維持が難しかったりする。実際、対面授業とオンライン授業の間には学習意欲の差が生まれていると感じる。

感染リスクを考えるとオンライン授業は有用だが、やはり対面で行う通常授業ほどの充実度は得られない。いまだ新型コロナウイルスが終息する兆しは見えないが、一日も早く通常通りの登校を行いながらの学習ができることを祈るばかりである。



研修会・勉強会の行事予定表

7月10日(金)	学研・基礎研修 やさしく学べる！ 最新エビデンスに基づいた疼痛看護	15:00～ 当院6階講堂
7月17日(金)	心臓リハビリテーション教室 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、当面の間、開催は中止します。	14:30～ 当院6階講堂
7月31日(金)	がんサロン 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、当面の間、開催は中止します。	13:30～ 当院6階講堂

編集後記

○7月といえば、七夕ですね?! なぜ“タナバタ”と読むのでしょうか…織姫と彦星の伝説が有名ですが、もともとは七夕(シチセキ)という中国の行事と日本の棚機津女(タナバタツメ)伝説が合わさって現在の七夕(タナバタ)になった説が有力のようです。ササの葉や七夕飾りにも意味があるのですが、気になる方は、調べてみてくださいね。さて、梅雨も後半に入り、豪雨災害が心配な時期となってきました。日頃から防災意識を忘れないでください。(城野)

7月 診療案内

※は、熊大応援医師

	月	火	水	木	金	休診日
内科 (消化器内科 呼吸器内科)	和田 正文 小林 博 林 広隆	和田 正文 林 広隆 応援	村本 啓 小林 博 中村 太造	和田 正文 村本 啓 林 広隆	村本 啓 小林 博	
代謝内科	※花谷 聡子			※守田 雄太郎	※小野 薫 (第1・3・5) ※大津 可絵 (第2・4)	
脳神経内科				林 広隆 (午後)		
※毎週木曜日午後から予約制の診療となります。						
循環器内科	脇田 富雄	脇田 富雄			脇田 富雄	
小児科	船曳 哲典	※熊大	船曳 哲典	船曳 哲典	船曳 哲典	
外科・肛門外科 消化器外科	大堂 雅晴	城野 英利	大堂 雅晴	城野 英利	大堂 雅晴	
整形外科	藤松 晃一	※上原 悠輔	藤松 晃一 村上 直也	藤松 晃一	村上 直也	
※毎週火曜日の診療開始は10時50分からとなります。 ※毎週水曜日の藤松医師の診療は予約のみとなります。						
耳鼻咽喉科	—	※熊大	—	※熊大	※熊大	
眼科	粟井 麻衣子	竹下 哲二	竹下 哲二	竹下 哲二	竹下 哲二	
※第1・第3・第5水曜日は、熊大医師による診療となります。						
皮膚科	—	—	—	※熊大	—	
泌尿器科	—	小川 愛一郎	—	—	—	
超音波・ 内視鏡センター	城野 英利	中村 太造	※松野 健司	大堂 雅晴	※山崎 明	
歯科・口腔外科	福田 敏博	福田 敏博	福田 敏博	福田 敏博	福田 敏博	
※午後は、13時～16時30分までの受付です。						
教良木診療所 応援	村本 啓	小林 博	応援	応援	林 広隆	
御所浦診療所 応援	竹下 哲二 (午前)					

※診療受付時間は午前8時30分～11時30分までです。

※脳神経外科は月2回(第2、第4水曜日)の午後2時より診療を行います。(予約制)

※診療案内は都合により変更となる場合があります。ご了承ください。